

○本時の目標（めあて）

- 新しい憲法で目指した社会のしくみがどのようなものか説明できる。

○指導上の留意点

- 小中連携
小学校の既習事項を想起させることで、学習のつながりを意識できるようにする。
- 情報機器の活用
班の意見の発表にiPadを使用することで、学習の効率化を図る。
- 協働学習
個人思考をふまえて、学習班で意見交流し、考えを深めていく。

○評価の観点

- 新しい憲法で目指した社会のしくみについて、資料の中から必要な情報を選択し、適切にまとめている。

〔思考・判断・表現〕

- 新しい憲法で目指した社会とは、どのようなものか、自分の考えを述べようとしている。

〔関心・意欲・態度〕

○準備

- 教科書、資料集、ノート、IWB、iPad、発表ボード

＜板書計画＞

授業の流れ

目標
教育基本法
民法
財閥解体
農地改革
まとめ
振り返り

目標

新しい憲法のもとで目指した社会のしくみがどのようなものなのか説明できる。

日本国憲法（1946年11月3日公布
1947年 5月3日施行）

教育基本法

- 3つの柱
国民主権
基本的人権の尊重
平和主義（戦争放棄）

民法

財閥解体

4つの政策はどのような社会を目指して行われたのか？

農地改革

まとめ 日本国憲法のもとで行われた改革によって、様々な面で民主化が進んだ。

振り返り

＜本時の流れ＞

①前時の復習

②本時の目標（めあて）を確認する。

③日本国憲法と3つの柱についてまとめる。

④中心課題についての個人思考を行う。（10～15分）

⑤中心発問についての意見交流を行う。（学習班5～10分・全体5分）

⑥まとめ「日本国憲法のもとで行われた改革によって、様々な面で民主化が進んだ」

⑦振り返り「分かったこと」「疑問に思ったこと」「調べてみたいこと」をノートに記述する。